

## 企業・サイト概要

- 提案企業: Viewsend ICT 株式会社
- 提案企業所在地: 東京都豊島区
- サイト: ベトナム国紅河デルタ地域
- 相手国実施機関: バックマイ病院及び2サテライト病院(バクニン省病院及びニンビン省病院)
- 事業実施期間: 2013年8月～2015年10月

## ●●● ベトナム国の開発課題 ●●●

## 合致

## ●●● 提案企業の技術・製品 ●●●

## 医療サービスの地域格差の是正

- 地方の病院における施設の未整備や医療器材の不足、医療従事者の能力・人員ともに不十分なため、保健医療サービスへのアクセスと利用の地域格差が生じている。

## 中央病院の過負荷是正

- 疾患状況に応じて適切な医療サービスが受けられるように、病院間で患者を紹介するシステム(リファラルシステム)が機能していないために、地方病院で治療可能であるにも関わらず、多くの患者が上位病院である中央病院に集中し、負荷を招いている。

## 画像診断医の能力向上

- 高度な画像診断を必要とする疾病(交通事故や癌など)の増加に伴い、画像診断医の能力向上が求められている。

## 双方向からリアルタイムで操作が可能な遠隔画像診断システム

- CTやMRI等からのデジタル画像を直接サーバー内に格納、アーカイブ保存・及び管理(PACS化)し、これらの画像を遠隔地においても双方向からリアルタイムに操作・診断ができるシステム。専門医不在の地方病院でも適切な医療サービスの提供が可能となる。
- 高品質の画像をPC上で処理できるため、従来のフィルム代・印刷現像代が削減でき、撮影してから診察室で画像を参照するまでの大幅な時間が短縮可能なため、患者の待ち時間減少につながる。

## 遠隔医療診断にかかる技術・知見の共有

- 群馬大学の知見を活用し、画像診断に関わる医師に対して遠隔医療診断に関する知識や技術を移転する。

## 提案企業の準備状況

- 平成24年度政府開発援助海外経済協力事業委託費による「案件化調査」において、提案製品が当該国の保健分野の開発課題に資すること、及び相手国実施機関からの強い関心が確認された。(システム科学コンサルタンツ株式会社との共同企業体にて実施)
- 提案製品である遠隔医療診断システムがリファラルシステム改善にどのように貢献しうるかを実証し、ビジネスとしての事業性を検証するために更なる働きかけが必要。

## 普及・実証事業の内容 (JICA事業)

- バックマイ病院及び2サテライト病院へ遠隔医療診断システムを整備
- 遠隔医療診断システムの運用・維持管理にかかる指導・管理体制の構築及びガイドラインの作成
- 地域医療連携の実現にむけた保健制度設計の支援
- 対象病院間における効果的な活用方法の指導
- ベースライン調査、モニタリング調査を踏まえた効果検証ならびにワークショップ開催

## ビジネス展開

- 現地パートナーである(株)フジキンの販路ネットワーク(独自ですでに技術移転済み)を利用し、本事業で構築したビジネスモデルを他地域へビジネス展開する。

